

2026年度 奨学金募集案内

☆校内締切りがあるものは学校での手続きが必要なので事務室まで書類を取りに来てください。
また、推薦枠を上回る応募があった場合は校内選考を行います。

(令和8年9月8日現在)

奨学金名	対象学年	応募条件	金額	給付/貸与	応募期間	校内締切り
公文公記念奨学金	全学年	申請者（生徒本人）が、以下のいずれかに該当し、学業、人物ともに優秀な者とする。 ①国際教育を実施する国内の中学・高等学校・中等教育学校に在籍している日本人及び外国人。 ②私立在外教育施設中等部・高等部に在籍している日本人。 ③推薦はできるだけ 各校2名 までとする。 ※上記の国際教育とは、国民相互の理解交流を促進するため、特色ある教育実践や国際交流を通じ、国際社会に通用する資質の育成を図る教育であり、次の各号の特色を有しているか否かをその基準とする。 ①国民相互の理解交流の促進に資する特色ある教育活動を積極的に行っている。 ②外国語教育に力を入れている。 ③留学生交流、帰国子女の受入を積極的に行っている。	卒業するまでの間 ・保護者宅からの通学生 【年額】50万円 (そのほか、寮・下宿生、 私立在外教育施設留学生は 別規定あり) ※不採用上位35名 単年度奨学金 50万円	給付	2026年9月14日（月）～10月9日（金）【WEB】	9/25（金）
公益財団法人PHOENIX「給付型奨学金」 https://www.phoenixfound.or.jp/scholarships/	全学年	①全国の公立高等学校に在学している者 ②修学のために経済的支援を必要とする者 ③向学心に富み、品行方正である者 ④学業に継続して取り組んでおり、前年度の学業成績証明書を提出できる者 ⑤生計維持者（父母がいる場合は双方）の前年度課税証明書に記載された合計所得が350万円以下であること ⑥他の奨学金の給付を本奨学金と併用して受けない者 ⑦応募者の推薦は 各高校2名 までとします	【年額】24万円 年1回	給付	2026年9月30日(水)【必着】 詳しくはホームページを参照ください。 ※学校長の推薦書（指定用紙）が必要です。 また1学年の生徒は中学3年の成績証明書が必要ですので、 早めに学校に申し出てください。	9/11（金）
公益財団法人重田教育財団 医学生教育資金貸与制度 https://s-ef.or.jp/medicalstudent/	全学年	①経済的な理由により日々の生活が困窮していること ②日本国内に住民票があること ③医師となる意欲が明確であること ④学業優秀且つ品行方正であること ⑤応募時点で高校生であること	年間上限額 ・高校1.2年生：1,300,000円 ・高校3年生：2,500,000円 ・医学部在学中、浪人中の詳細はHP参照	貸与(無利子)	2026年9月1日(火)～2026年10月31日(土) 【必着】 詳しくはホームページを参照ください。	各自で申請
コープこうべの奨学金「てとて」 https://kumikatsu.kobe.coop/shogakukin/	1年生	申請者（生徒本人）が、以下の①～③すべてに該当すること。 ①申請時に高等学校、高等専門学校、特別支援学校、ならびにこれに準ずる学校の1学年に在籍 ②コープこうべの事業エリア内に居住 ③学習意欲があるが、経済的な事情で修学継続が困難 ※募集要項・申請用紙はホームページからダウンロード可。（9/25まで）事務室でもお渡しできます。	【月額】1万円 1学年の11月から卒業まで	給付	各自で申請。 2026年10月2日（金）【必着】 ※学校長の推薦書兼在籍証明書（指定用紙）が必要です。 お早めにお申し出ください。	各自で申請
交通遺児育英会 https://www.kotsuiji.com	全学年	保護者が自動車やバイクの事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、 経済的に就学が困難な生徒・学生であること。応募者が生まれる前に保護者が後遺障害となった場合も含む。	【月額】2万、3万、4万 から選択（うち1万円は給付） 【入学一時金】 20万、40万、60万から選択 ※1年生入学後希望者に貸与	貸与(無利子) (一部給付)	2027年1月31日（日） 各自で申請。ホームページを参照ください。	各自で申請

奨学金名	対象学年	応募条件	金額	給付/貸与	応募期間	校内締切り
福島県奨学資金	全学年	高等学校または修学年限２年以上の専修学校の高等課程の生徒で次の全てに該当する者。 ①福島県外に在学するものは、入学または転学するまで福島県内に６か月以上住所を有し、かつ保護者が福島県内に６か月以上住所を有している。 ②１年生・・・中学校における最終学年の全履修教科の評定を合計し、これを全履修教科数で割った値（小数点第２位四捨五入）が３.０以上であること。 ２・３年生・・・２年生は１年次、３年生は１・２年次の全履修科目の評定を合計し、これを全履修科目数で割った値（小数点第２位四捨五入）が３.０以上であること。 ※原子力災害被災地域において被災した生徒は学力に基準はありません。 ③主たる生計維持者（保護者等）の１年間の収入金額から、必要経費及び特別控除額を差しいた所得金額が、想定する所得基準額以下であること。	【月額】 18,000円～23,000円	貸与(無利子)	2026年12月11日（金）	11/27（金）